



## 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 資産の評価基準及び評価方法

#### 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・貯蔵品は最終仕入原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を採用しています。

### 固定資産の減価償却の方法

#### 有形固定資産

定率法を採用しています。

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については定額法を採用しています。

#### 無形固定資産

定額法を採用しています。

### リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産についてはリース期間を耐用年数と残存価額をゼロとする定額法を採用しています。

### 引当金の計上基準

#### 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については法人税法の規定による法定繰上による計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

#### 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分の計上をしています。

#### 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額により計上しています。

### 計算書類作成のための基本となる重要な事項

#### 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しています。

## 株主資本等変動計算書に関する注記

### 発行済株式の数

#### 普通株式

前期末株式数 3,900株

当期末株式数 3,900株

## 当期純損益金額

当期純利益 66,955 千円